

(平成 29 年 9 月試験研究業務月報)

試験研究課題：アカムツ（ノドグロ）の資源管理手法の開発

研 究

## 水揚げされたアカムツの体長測定

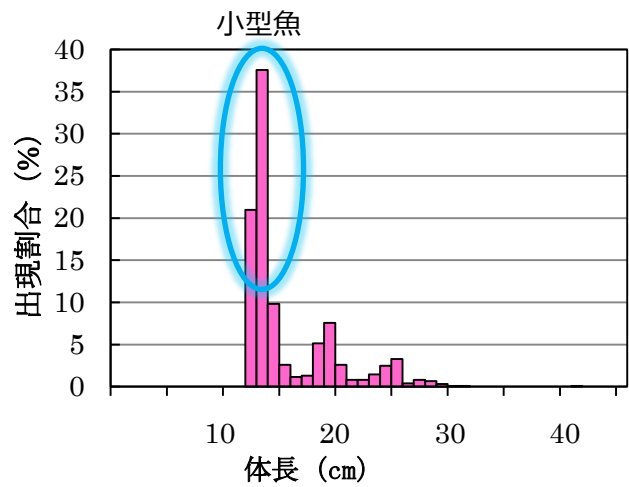
京都府の底びき網漁業が 9 月に解禁となり、同月 5 日にはカレイやニギス、アカムツ（ノドグロ）などが魚市場に初水揚げされました。当センターでは、高級魚として価格が上昇しているアカムツの資源管理手法の開発に取り組んでおり、その一環として、市場に出向いて魚体の大きさや漁獲量を調べています。

市場での測定結果では、未成熟と考えられる体長 12~13 cm の小型魚の漁獲割合が 50%以上と高く、このような漁獲が続けば資源の減少が心配されます。

今後、さらにデータを集積・分析して、本種の成長や成熟などを明らかにし、資源を持続的に安定利用するための漁獲方法を漁業者に提案します。



アカムツの体長測定



アカムツの体長組成